

# 資料編

---

第六次大野市総合計画の策定経過

市民意識調査の結果概要

地区別ワークショップの結果概要

委員名簿

(大野市総合計画審議会、第六次大野市総合計画策定幹事会)

## (1) 第六次大野市総合計画の策定経過

月 日	審議会	幹事会	市民・市議会
令和元(2019)年			
6月2日(日)	第1回(会長・副会長の選任、諮問)		
7月16日(火)		第1回 (幹事長・副幹事長の選任、専門部会編成)	
7月～8月			市民意識調査
8月～9月			地区別ワークショップ (8会場で開催)
10月4日(金)		第2回 全体会、専門部会	
11月28日(木)		第3回 全体会、専門部会	
12月12日(木)		第4回 全体会	
12月22日(日)	第2回		
令和2(2020)年			
1月23日(木)		第5回 全体会、専門部会	
2月17日(月)		第6回 全体会、専門部会	
3月1日(日)	第3回		
4月1日(水) ～ 16日(木)			基本構想(案)の パブリックコメント実施
4月30日(木)	第4回(書面開催)		
5月11日(月)	基本構想(案)の答申		
5月28日(木) 5月29日(金) 6月1日(月)		第7回 専門部会	
6月18日(木)			基本構想(案)の議決
7月6日(月) 7月9日(木) 7月10日(金)		第8回 専門部会	
7月31日(金)		第8回※追加 こども部会 健幸福祉部 会	
8月12日(水)	第5回		
10月8日(木)		第9回 全体会、専門部会	
11月5日(水)	第6回		
11月30日(月) ～ 12月14日(月)			前期基本計画(案)の パブリックコメント実施
12月24日(木)	第7回		
令和3(2021)年			
1月7日(木)	前期基本計画(案)の答申		
2月16日(火)	第8回		

## (2) 市民意識調査の結果概要

市民の方々の意識やまちづくりに対する意向を把握するため、市民意識調査を実施しました。

また、別の視点からの意見も参考とするため、移住者の方や大野市にゆかりのある方対象の調査も実施しました。

### 『市民』

対 象：市内に居住する18歳以上の市民

調査期間：令和元年7月19日～8月5日

回 収 率：配布数 1,000    回答数 327    回答率 32.7%

### 『中高生』

対 象：市内の中学3年生、高校3年生

調査期間：令和元年7月8日～7月19日

回 収 率：配布数 562    回答数 531    回答率 94.5%

### 『ゆかりのある方』

対 象：大野市外在住で大野市にゆかりのある方

調査期間：令和元年7月19日～8月5日

回 収 率：配布数 300    回答数 146    回答率 48.7%

### 『移住者』

対 象：大野市に移住された方

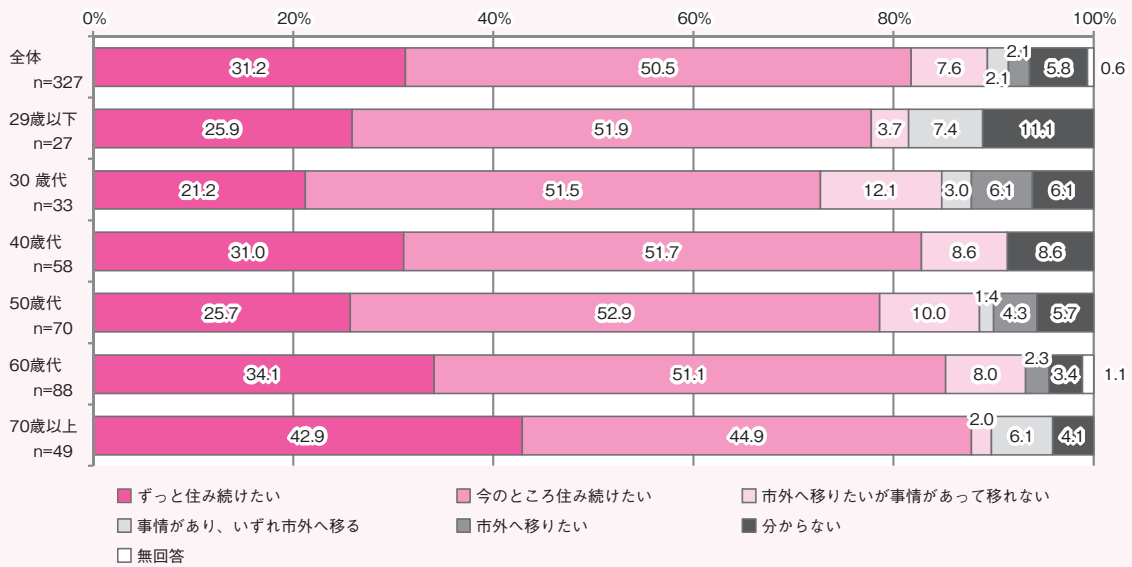
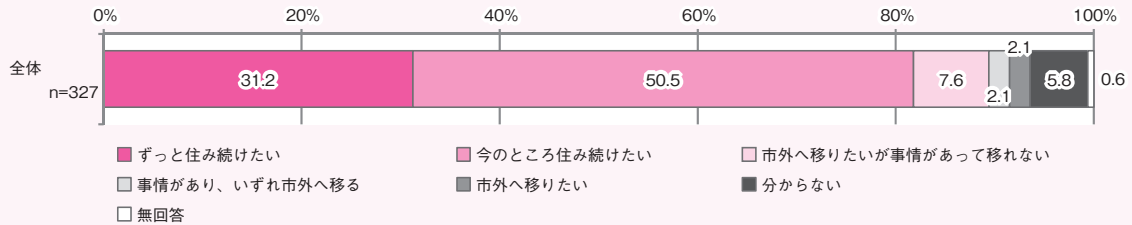
調査期間：令和元年8月19日～9月6日

回 収 率：配布数 55    回答数 11    回答率 20.0%

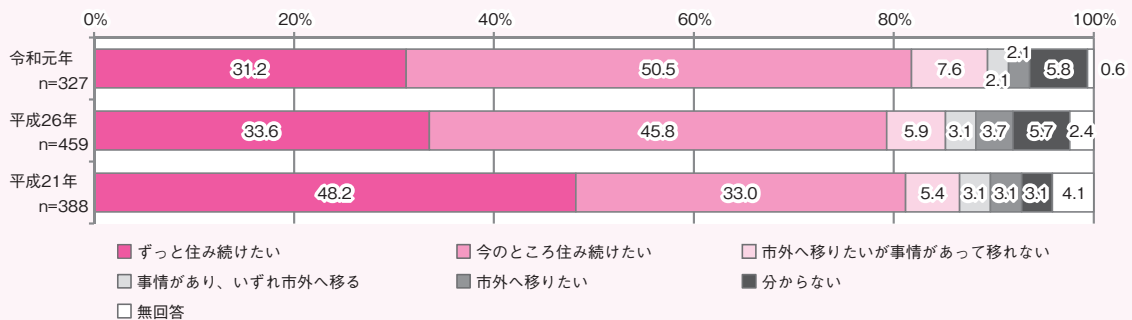
## 【居住意向】

### 『市民』

問：大野市に今後も住みたいと思いますか。（1つ選択）

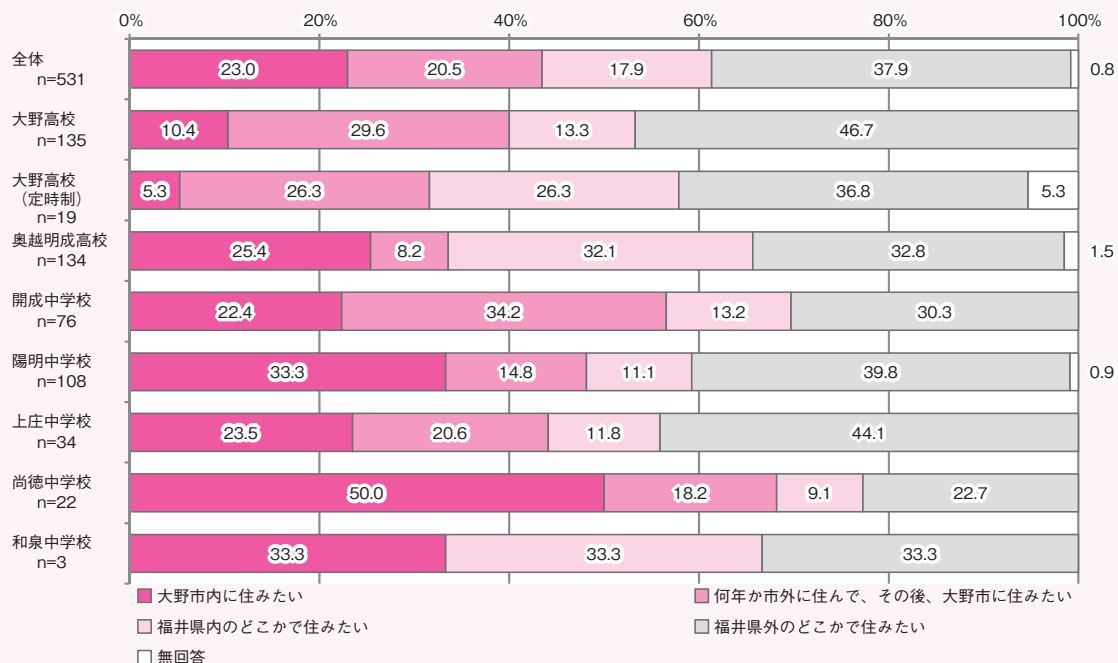


参考：平成21年、平成26年、令和元年の比較



## 『中学生』

問：高校や大学などを卒業後、大野に住みたいと思いますか。（1つ選択）



### 【卒業後、大野市外に住みたい理由】

大野は田舎すぎるから、都会での生活も経験してみたい。／大野は田舎でなんもないから。／大野よりは町な所に住んでみたい。／大野市は田舎すぎて不便。／田舎から出たい。／田舎が嫌。／都会に行けば何でもあるから。／都会に行ってみてみたいから。／都会に住みたいから。／都会のほうが魅力的だから。

福井県に買い物をするところがないから。／便利だし、買い物とかもたくさんできるから。スタバなどのチェーン店がたくさんあるから。

交通の便が悪いから。／電車が少ないから。／電車やバスの本数時間が他の市に比べて少ない。どこか行こうと思っても車が必ず必要になる。

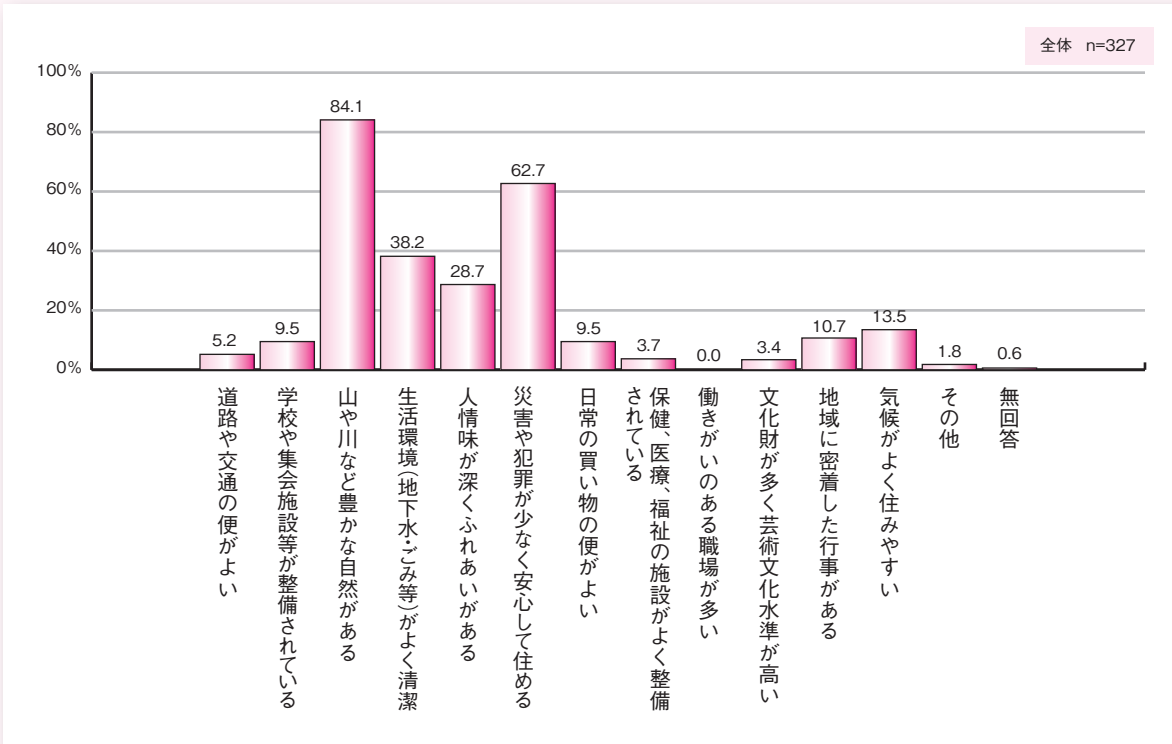
いい町だけど、就きたい職がない。／いろんな所で働きたいから。／ゲームデザイナーとかゲームプログラマーになりたいから。／やりたい仕事が大野市外にあるため。／ろくな仕事がないから。／楽しそうな仕事が多そうだから。／企業が少ない（働く）。

行きたい大学が市外にあるから。／行きたい大学が東京だから。／自分の行った大学の県に住みたいから。／進学したい大学が市外にあり、そのままそこに住みたいから。

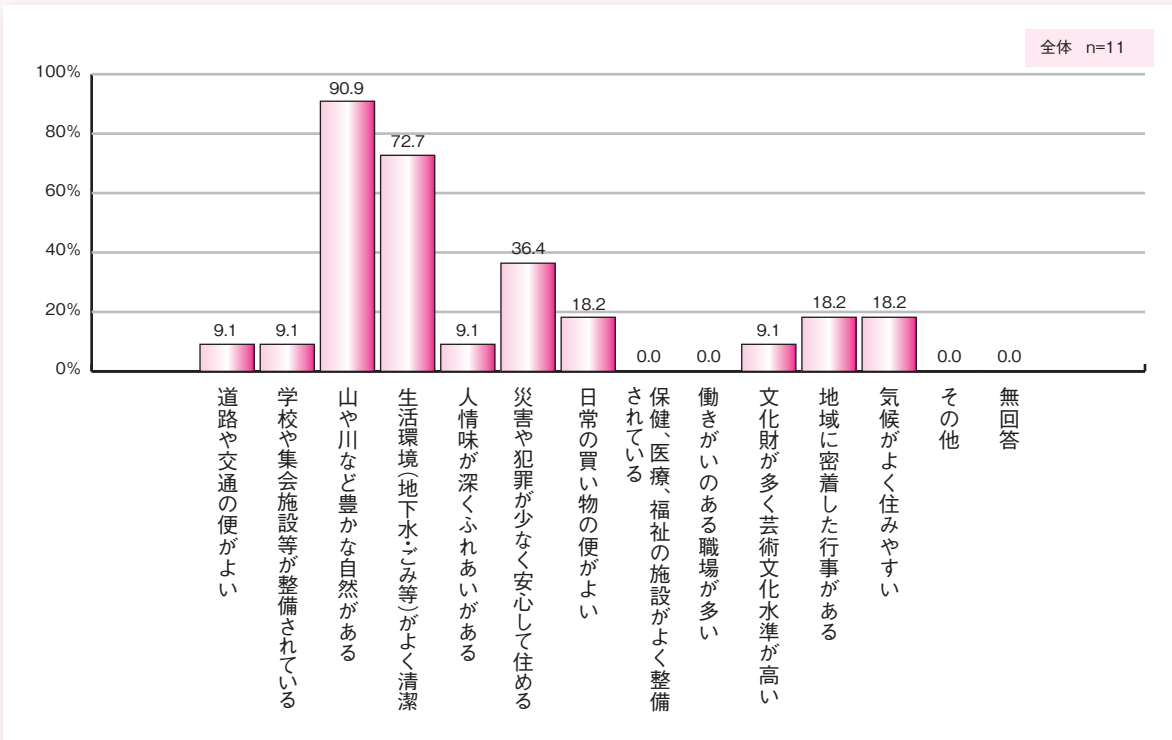
いろんなものを見てみたいから。／ずっと大野に住むよりもほかの土地に住んでみたいから。／もっとでかい世界へ行きたい、見たい。／もっと一人で自立ができるようにしたい。／一人で生活してみたいから。／一度、大野市の外で住んでみたい。／家から出て一人暮らししたいため。／外国に住みたいから、外国人としゃべりたいから。／世界に行きたいから。／大野では、自分の将来の夢が叶えられないから。

## 【大野市の現在のイメージ、良いところ】

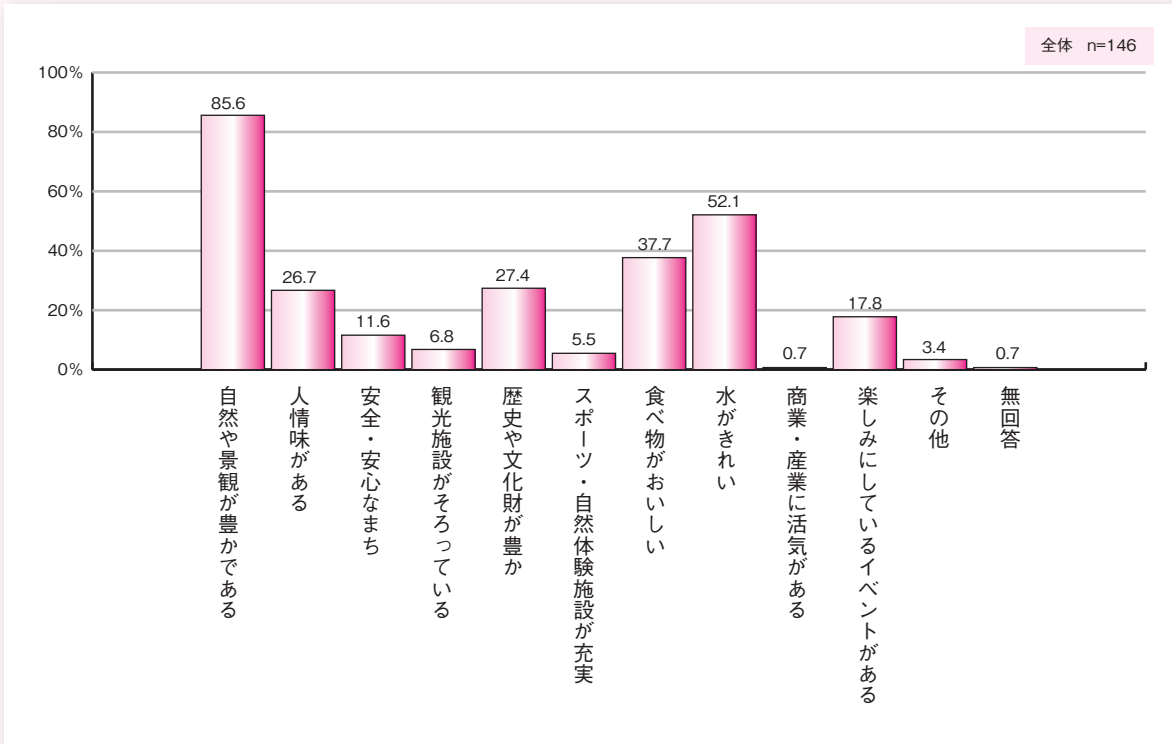
### 『市民』



### 『移住者』

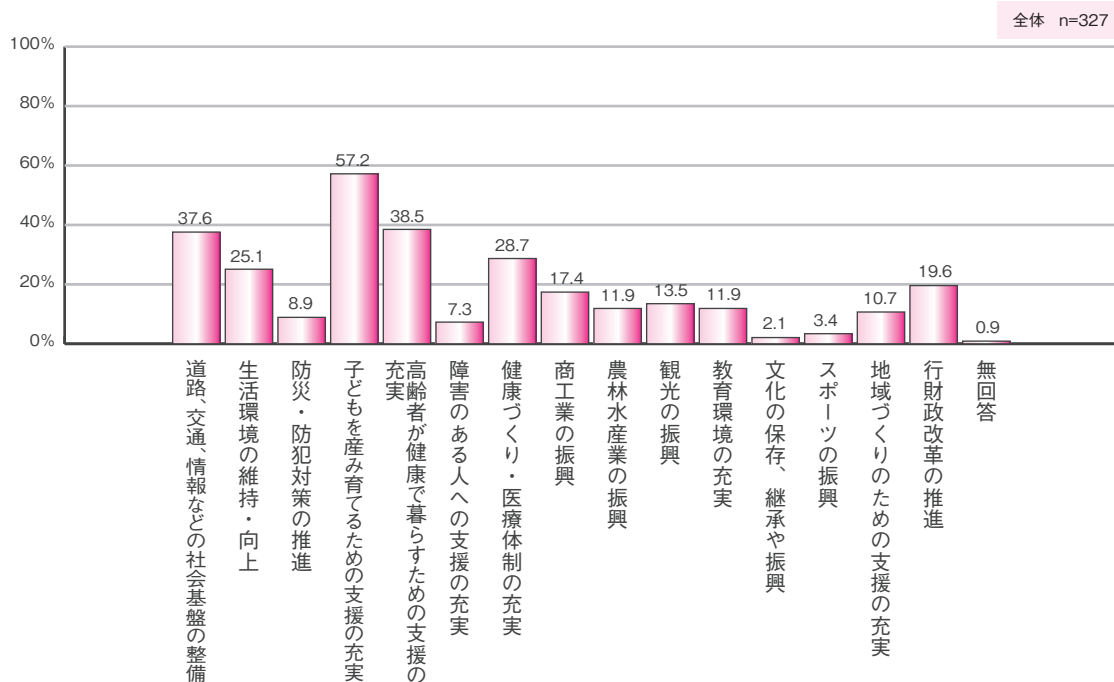


## 『ゆかりのある方』

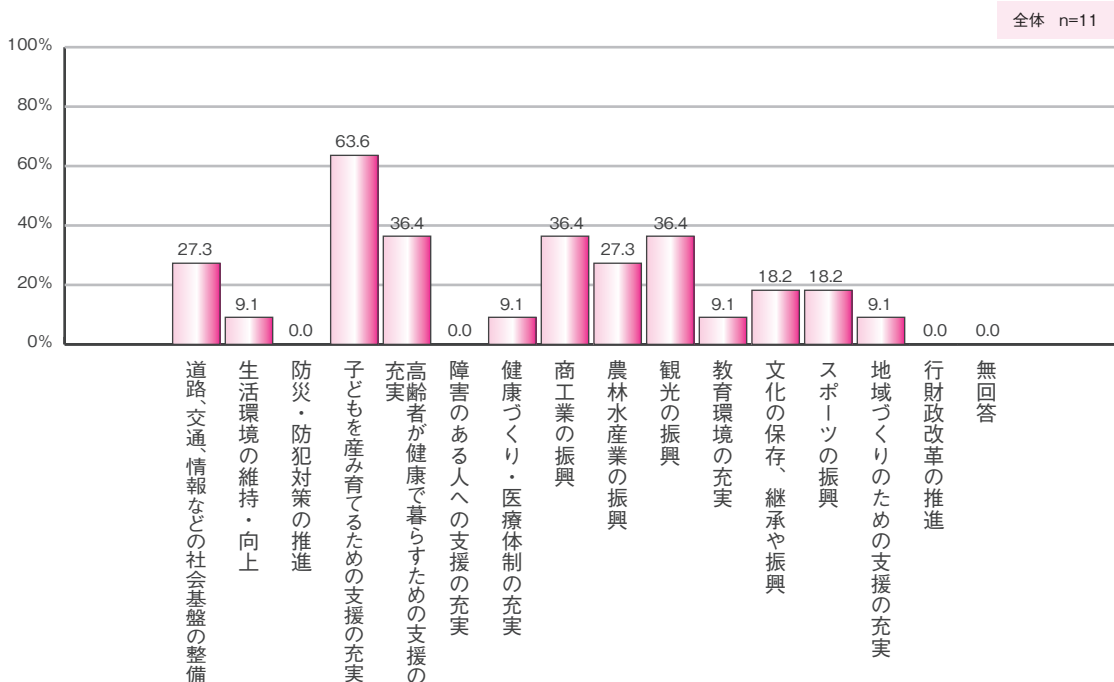


## 【今後必要となる取り組み】

### 『市民』



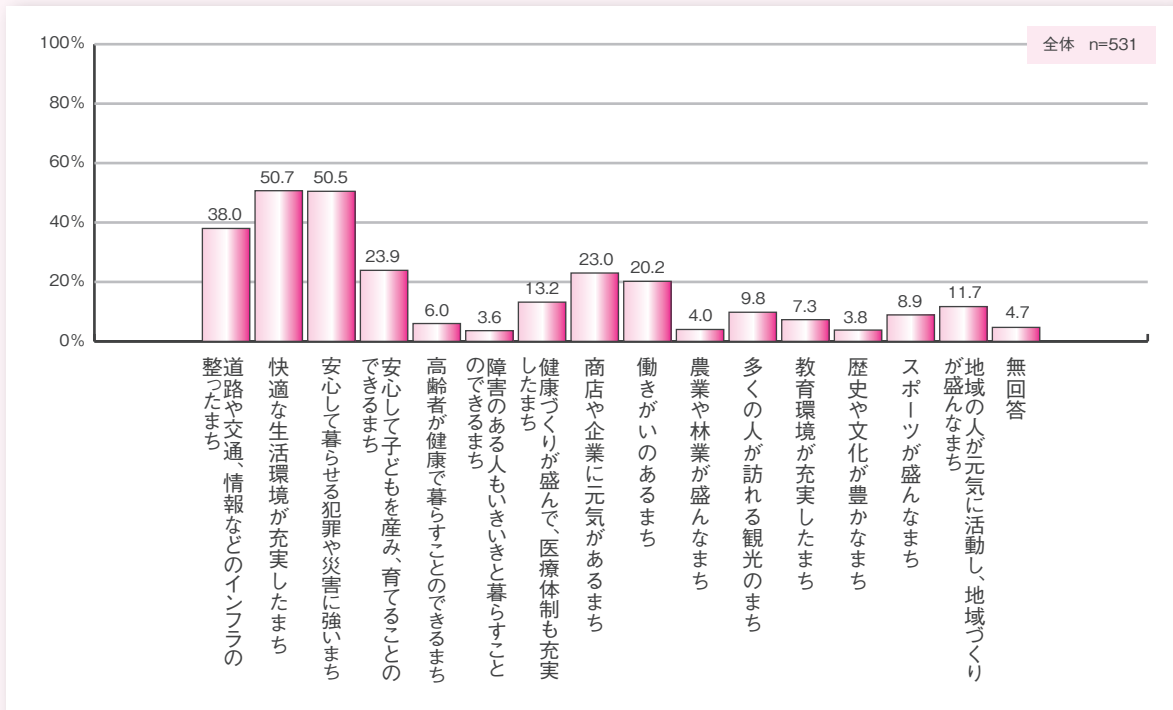
### 『移住者』





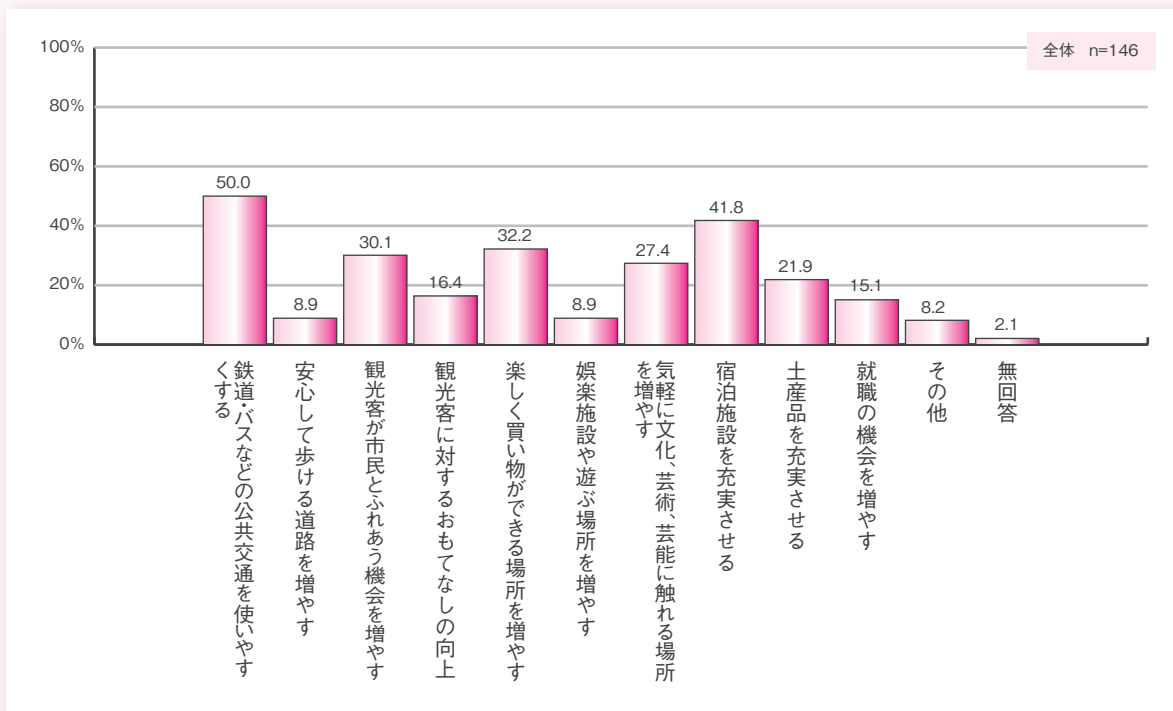
## 『中高生』

問：将来住んでみたいと思うまちはどんなまちですか。（3つまで選択）



## 『ゆかりのある方』

問：大野市内で改善すべきと思うのはどんなところですか。（3つまで選択）



## 自由意見

### 【子育て】

- ・安心して子育てができる市にしてほしい。
- ・子どもが遊べる施設が必要。

### 【健康】

- ・生活習慣病予防や詐欺被害防止、医療費の話を近くの集会所で聞ける機会を作ってほしい。
- ・高齢者だけでなく、コミュニティにおける役割を意識することで、心も身体も健康になれると思う。
- ・健康のまちとしてつくりあげるとよい。

### 【福祉】

- ・子どもや老人、障がい者が生きやすいまちをつくるのが、全員が生活しやすいまちにつながるのではないか。
- ・障がい児を預けられる施設やスタッフを増やしてほしい。

### 【観光】

- ・大野市の魅力である風景や財産を守り、まちづくりを行うことが重要。まちなかの観光の充実とともに、百名山である荒島岳と連携した観光を。
- ・交通網を良くして観光客を増やす。
- ・観光客にもっと柔らかく接してほしい。

### 【防災・防犯】

- ・横断歩道で必ず車が止まってくれる交通安全運動を行ってほしい。
- ・防災、防犯対策における自助、公助、共助の考え方は高齢化社会における地域コミュニティにもつながる。

### 【教育】

- ・特色ある教育を進めてほしい。
- ・勉強できるところが少ないので増やしてほしい。

### 【医療】

- ・入院できる病院が市内には少ないので、フォローアップの体制が必要。
- ・子どもを安心して産める環境がほしい。

### 【スポーツ】

- ・スポーツで頑張っている子のために支援してほしい。

### 【商業】

- ・もう少し商業施設を増やしてほしい。
- ・高齢化社会を考えたとき、自宅周辺に移動型の店舗が多くなると便利かもしれない。

### 【雇用環境】

- ・若者が働きやすいと思う市づくりを求む。
- ・市内に魅力的な就職先がほしい。
- ・地元で就職できる場所をつくるため、企業誘致と産業育成が急務。

### 【地下水保全】

- ・おいしい水や豊かな大自然といった大野の魅力を未来へつないでほしい。
- ・水と自然。自然環境を大切にす教育。生きもの、緑を多くする。ゴミを少なくし、きれいな大野市に。

### 【生涯学習、文化、芸術】

- ・文化芸術を楽しむ心の余裕のない人が多い。コンサートや美術などを楽しむ場がない。福井や県外に出ないと見られないし、楽しめない。
- ・昔ながらの伝統などを伝えていく。

#### 【生活環境】

- ・住んでいる人たちの基本となる生活環境の維持や向上にも地道に取り組んでほしい。
- ・大野の美しい自然をそのままの様で残してほしい。
- ・「環境」「自然」など「結」「名水（湧水）」を少し発展させ（SDGsもくみとりつつ）、気候変動、温暖化など地球規模で進行する環境破壊に対して大野市は大野市らしい取り組みを行っているとし内外へ表明していくことはどうだろうか。

#### 【生活インフラ】

- ・よく耳にするのは「冬の事を考えたら、福井市へ移住してしまう」ということ。大野市は除雪作業も早く丁寧だと思うが、若い人が少しの雪かきも面倒だと考える人が多いかもしれない。
- ・市街地と村部の利便性の差が広がらないようにしてほしい。交通、買物、通院、すべてにおいて暮らしやすいとは言えない。高齢化も進む一方で不安。
- ・除雪が行き届いていて冬でも意外と楽。

#### 【公共交通】

- ・JR越美北線の本数が少なく、快速もないため、鉄道での通勤がとても不便。福井市方面への通学・通勤に合わせた快速便をつくってほしい。
- ・車に乗れない私たちにとって足となるのは電車とバスだけ。バスや電車を1時間に1本は出すようにしてほしい。
- ・鉄道はあるが、車以外の観光客や故郷訪問者の足としては不便で訪問しづらい（福井～大野間の交通の便の改善が必要）。

#### 【農林業】

- ・大野市の農作物の品質の良さをもっともっと県外・国内・国外にアピールし、強みにするべき。
- ・今後、耕作放棄地が増えてくるとわれ、担い手支援も必要だし、放棄地を花畑にするなど、景観を維持する取り組みも必要。

#### 【地域づくり】

- ・大野から一度出た人が故郷に戻ると力を発揮するのではないかと。Uターン者を多く持つための努力があっても良いのではないかと。
- ・地域のつながりが薄くなり、良い意味で世話を焼く人、仲人になるような人が減ってしまった。あまり他人の事に関わらないでおこうという気持ちが強くなってきているように思う。
- ・人と人がつながって協力する、みんなが「結」の心でつながっているような所にした。
- ・福井の田舎は閉鎖的で暗いところが多いが、大野はとても人間味があって優しい人が多い。不便なところも多いが人間性の良さでカバーできるくらい素晴らしいと思う。

#### 【行政改革】

- ・人口3万人を切ることを基にまちづくりを考えれば、将来性の無いムダな施設を民間払い下げ、または閉鎖して、子どもの教育費に投資していただきたい。
- ・人口減少は避けられない！今のうちに施設の増改築をしておこう、ではなくて、後々に付けを回さない為にもよく研究してほしい。重荷にならないように。
- ・市職員も含めて「対人」の心が感じられない場合が多い。Uターン、Iターン、観光、移住。全て他府県で生活している、又は生活していた人を相手にする。接客や交通マナー向上において競争も向上心もないままでは、観光や移住政策は成り立たない。大野は人情味溢れる人が多いのに、その入口対応で損をしてしまうのは非常に勿体無い。
- ・近隣自治体との連携は急務！

### (3) 地区別ワークショップの結果概要

第五次大野市総合計画について、SDGsの観点による満足度調査と意見交換を行いました。

#### 実施日と参加人数

令和元年	地 区	参加者人数				
		総 数	男 性	女 性	若 者	地 区 外
8/1	下 庄	20	15	5	2	1
8/2	大 野	36	29	7	2	1
8/21	乾 側	14	12	2	0	0
8/22	小 山	10	10	0	1	3
8/23	和 泉	26	20	6	6	3
9/5	阪 谷	35	16	19	9	2
9/6	富 田・五 箇	14	10	4	3	0
9/20	上 庄	38	29	9	2	0
	計	193	141	52	25	10

#### ワークショップアンケートでの自由意見

子育て中の私の娘は、大野で子育てがしたいと言っている。家族のようなあたたかい結の心を感じられる大野であってほしい。

若い方が働きたいと思える職、環境を整えることができるか。地元に残る人、または戻って来られる方が増えるような魅力の創出が必要。

行政と市民のパートナーシップによる市政の運営が求められる。いかに「自分ごと」として考え、行動ができるか、行政はその場を提供できるか。前向きな議論と明確な方向性を。

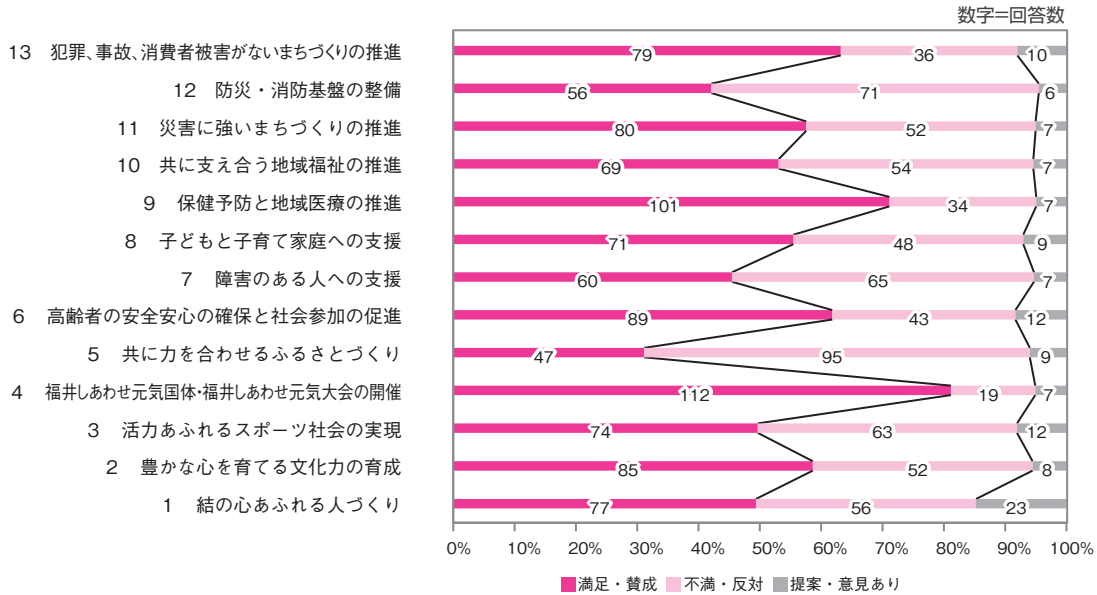
自然が良くないところには、産業も来ない。何を最優先するかを計画に反映させてもらいたい。

市は、各地区のコミュニティと交流を深くし、市民の意見を直接聞いて、まちづくりに活用してほしい。

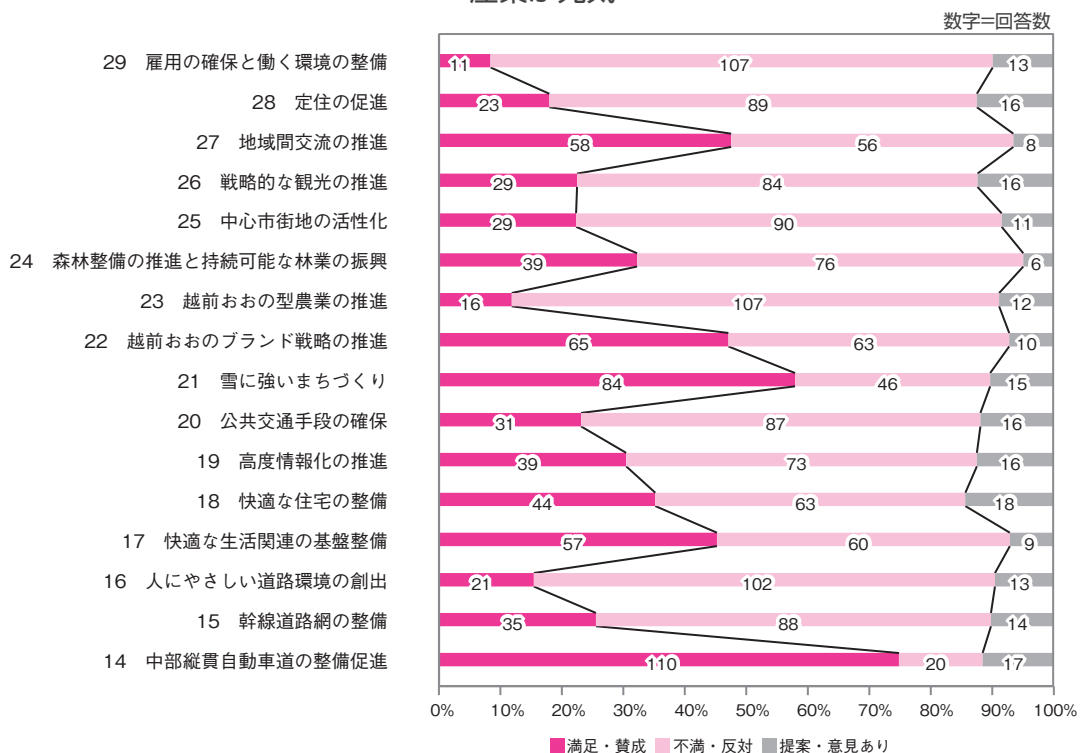
市民が安心して暮らせるよう、財政的な安心感を市民に与えないと、市民が外に出ていく。活発な議論を期待したい。

第五次大野市総合計画の4つの柱「人が元気」「産業が元気」「自然が元気」「行財政改革」ごとに、これまでの取り組みに対する満足度について、意見をいただきました。

### 人が元気

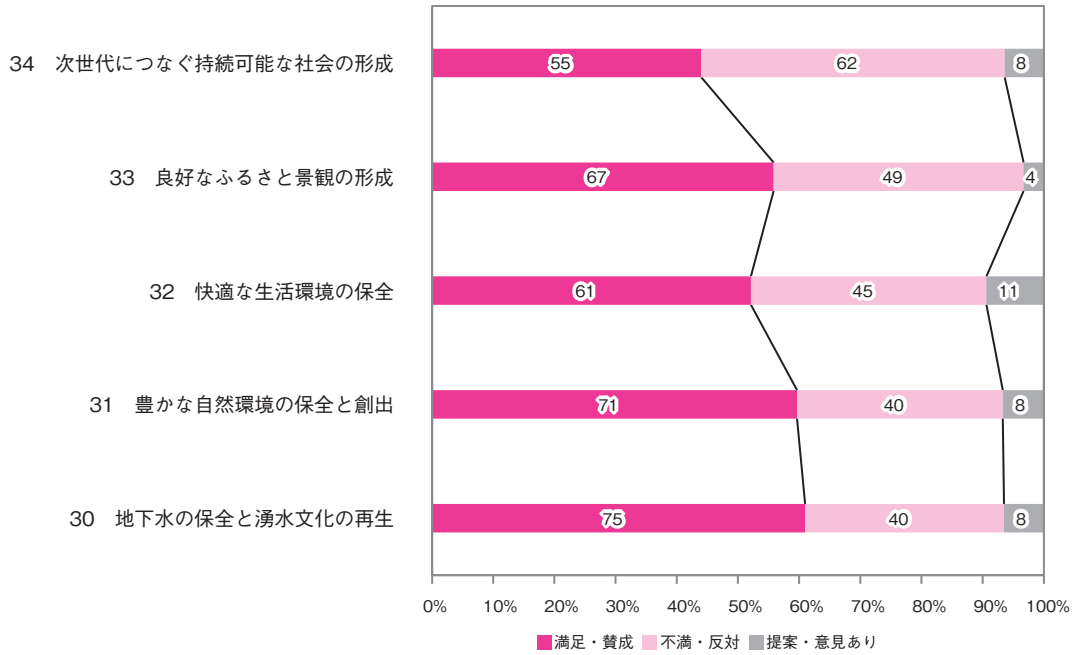


### 産業が元気



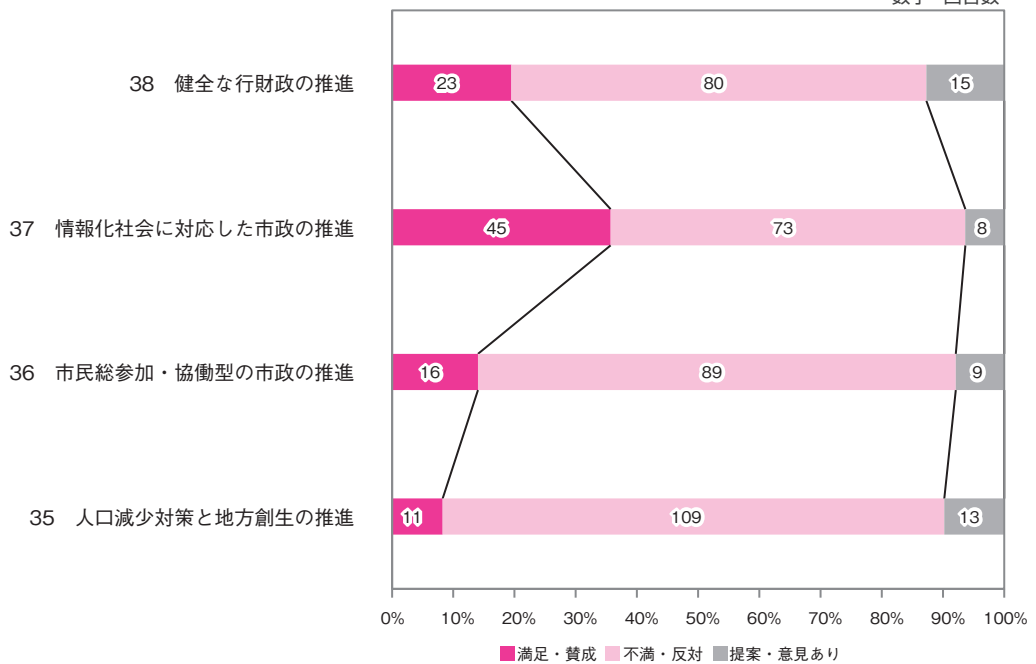
### 自然が元気

数字=回答数



### 行財政改革

数字=回答数





## (4) 委員名簿

### (大野市総合計画審議会、第六次大野市総合計画策定幹事会)

令和元年度から2年度にかけ、基本構想と基本計画について議論、審議していただきました。

大野市総合計画審議会 任期：令和元年6月～令和3年2月

敬称略

区 分	氏 名	役職等（委嘱時）
学識経験者	◎ 南保 勝	福井県立大学教授
	三寺 潤	福井工業大学教授
関係団体役職員	南部 和男	大野市区長連合会副会長
	新井 基衛	大野市区長連合会副会長
	稲山 幹夫	大野商工会議所会頭
	森尾 義治	(一社)大野建設業会会長
	板橋 利幸	福井県農業協同組合専務理事
	馬場 功	九頭竜森林組合代表理事組合長
	松田 祐一	(一社)大野市医師会会長
	田中 宏直	大野市PTA連合会会長 ※
	中村 昌嗣	大野市PTA連合会会長 ※
	川田 香菜子	みらい子育てネット大野事務局
	金森 関治	(社福)大野市社会福祉協議会会長 ※
	齊藤 康文	(社福)大野市社会福祉協議会会長 ※
	山田 翔	(公社)大野青年会議所専務理事 ※
	田嶋 大樹	(公社)大野青年会議所専務理事 ※
	○ 石塚 淳子	大野市連合ふわ女性の会会長
	石田 光義	大野市壮年団体連絡協議会会長 ※
	松田 佳生	大野市壮年団体連絡協議会会長 ※
	山本 鐵夫	大野市老人クラブ連合会会長
	羽根田 繁紀	大野市文化協会会長
	岩田 繁憲	大野市スポーツ協会会長
新井 俊成	(一社)大野市観光協会会長	
山本 里樹	連合福井福井地域協議会副議長 ※	
北脇 章雄	連合福井福井地域協議会副議長 ※	
杉田 賢造	大野市消防団団長 ※	
多田 繁男	大野市消防団団長 ※	
公 募	小嶋 秀穂	公募委員
	三浦 明子	公募委員
	木下 大悟	公募委員
	猿谷 春奈	公募委員

◎会長 ○副会長 ※計画策定期間中に交替があった委員



第六次大野市総合計画策定幹事会 任期：令和元年7月～令和3年2月

敬称略

区 分	氏 名	役職等（委嘱時）
関係団体推薦	宮澤 則博	大野市区長連合会副会長
	大谷 誠治	大野市区長連合会理事
	松田 勉	大野商工会議所専務理事 ※
	飯田 俊市郎	大野商工会議所専務理事 ※
	歸山 正信	（一社）大野建設業会参事
	高津 豊博	テラル越前農業協同組合指導販売部営農政策課長 ※
	濱 郁生	福井県農業協同組合営農指導課主任 ※
	阪下 雅治	九頭竜森林組合総務課長
	松田 祐一	（一社）大野市医師会会長
	山形 哲郎	大野市 PTA 連合会副会長 ※
	朝日 智幸	大野市 PTA 連合会副会長 ※
	◎川田 香菜子	みらい子育てネット大野事務局
	巻寄 富美男	（社福）大野市社会福祉協議会事務局長
	山田 翔	（公社）大野青年会議所財政局長 ※
	田嶋 大樹	（公社）大野青年会議所専務理事 ※
	石塚 淳子	大野市連合ふわ女性会の会長
	佐々木 正祐	大野市壮年団体連絡協議会事務局長
	畑中 正頼	大野市老人クラブ連合会副会長
	宮前 敏雄	大野市文化協会事務局長
	久保 光	大野市スポーツ協会副理事長
	松嶋 秀明	（一社）大野市観光協会観光ボランティアガイド大野会長
	山本 里樹	連合福井福井地域協議会副議長 ※
	北脇 章雄	連合福井福井地域協議会副議長 ※
	瀧川 安洋	大野市消防団活性化推進委員会委員長 ※
	藤田 利博	大野市消防団活性化推進委員会委員長 ※
	伊藤 修二	大野商工会議所青年部会長
	竹内 大策	しもプロ会長
	谷 和子	大野福祉施設連絡協議会（むつみ園副施設長） ※
	石田 光義	大野福祉施設連絡協議会（希望園園長） ※
	藤森 勉	大野福祉施設連絡協議会（大野和光園専務理事）
富田 光拓	越前信用金庫三番支店支店長	
竹内 由美	大野市教頭会（有終西小学校教頭） ※	
下口 真砂代	大野市教頭会（乾側小学校教頭） ※	
島田 健一	中野清水を守る会会長 ※	
公 募	○小嶋 秀穂	公募委員
	三浦 明子	公募委員
	木下 大悟	公募委員
	猿谷 春奈	公募委員

◎幹事長 ○副幹事長 ※計画策定期間中に交替や新規委嘱があった委員

## 第六次大野市総合計画

発行 令和3年2月  
編集 大野市 企画総務部 政策局 総合政策課

〒912-8666 福井県大野市天神町1-1  
TEL 0779-66-1111(代)  
FAX 0779-65-8371